

政策厚文委員会会議録

平成30年 3月15日(木)

氷見市庁舎委員会室

開会 午後 1時00分

閉会 午後 2時52分

- 1 案 件 平成30年3月定例会において政策厚文委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
小清水委員長、正保副委員長、濱井委員、上坊寺委員、山本委員、萩山委員
- 3 委員外議員 嶋田議長、稲積議員、越田議員、萬谷議員、竹岸議員、松原議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、前辻副市長、山本教育長、藤澤市長政策・都市経営戦略部長、高橋総務部長、草山市民部長、荒井教育次長、出戸企画政策課長、森田商工・定住課長、角井スポーツ振興室長、東軒教育総務課長、中館学校教育課長、戸田福祉介護課長、東海子育て支援課長、田中市民課長、坂本健康課長、七田病院事業管理室長、山口環境・交通防犯課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 4人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・小清水委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員会報告の作成は、委員長に一任され、特筆事項は無しとした。
 - ・本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第111条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。
 - ・平成30年度の行政視察については、5月16日から18日までの3日間で実施することとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

平成30年3月15日

氷見市議会政策厚文委員長

小清水 勝則

平成30年3月政策厚文委員会付託案件表

平成30年3月15日(木)午後1時

氷見市庁舎A棟2階委員会室

◎ 企画政策課

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
企画政策課所管に係る事項……………予算書 84
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算(第8号)中
企画政策課所管に係る事項……………説明書A-12

◎ 商工・定住課

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
商工・定住課所管に係る事項……………予算書 88

◎ 芸術文化振興室

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
芸術文化振興室所管に係る事項……………予算書 162
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算(第8号)中
芸術文化振興室所管に係る事項……………説明書A-30

◎ スポーツ振興室

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
スポーツ振興室所管に係る事項……………予算書 94
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算(第8号)中
スポーツ振興室所管に係る事項……………説明書A-30

◎ 教育総務課等

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
教育総務課等所管に係る事項……………予算書 154
- ・議案第5号 平成30年度氷見市育英資金特別会計予算……………予算書特115
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算(第8号)中
教育総務課等所管に係る事項……………説明書A-28
- ・議案第13号 平成29年度氷見市育英資金特別会計補正予算
(第1号)……………議案書E-1
- ・議案第28号 氷見市立小学校設置条例の一部改正について……………議案書J-23

◎ 学校教育課等

- ・ 議案第 1 号 平成 30 年度氷見市一般会計予算中
学校教育課等所管に係る事項……………予算書 154
- ・ 議案第 9 号 平成 29 年度氷見市一般会計補正予算（第 8 号）中
学校教育課等所管に係る事項……………説明書 A-28

◎ 福祉介護課

- ・ 議案第 1 号 平成 30 年度氷見市一般会計予算中
福祉介護課所管に係る事項……………予算書 102
- ・ 議案第 7 号 平成 30 年度氷見市介護保険特別会計予算……………予算書特 161
- ・ 議案第 9 号 平成 29 年度氷見市一般会計補正予算（第 8 号）中
福祉介護課所管に係る事項……………説明書 A-16
- ・ 議案第 15 号 平成 29 年度氷見市介護保険特別会計補正予算
（第 4 号）……………議案書 G-1
- ・ 議案第 22 号 氷見市介護保険条例の一部改正について……………議案書 J-11

◎ 子育て支援課

- ・ 議案第 1 号 平成 30 年度氷見市一般会計予算中
子育て支援課所管に係る事項……………予算書 106
- ・ 議案第 9 号 平成 29 年度氷見市一般会計補正予算（第 8 号）中
子育て支援課所管に係る事項……………説明書 A-16

◎ 市民課

- ・ 議案第 1 号 平成 30 年度氷見市一般会計予算中
市民課所管に係る事項……………予算書 92
- ・ 議案第 4 号 平成 30 年度氷見市国民健康保険特別会計予算……………予算書特 73
- ・ 議案第 8 号 平成 30 年度氷見市後期高齢者医療事業特別会計予算……………予算書特 199
- ・ 議案第 12 号 平成 29 年度氷見市国民健康保険特別会計補正予算
（第 4 号）……………議案書 D-1
- ・ 議案第 16 号 平成 29 年度氷見市後期高齢者医療事業特別会計補正
予算（第 3 号）……………議案書 H-1
- ・ 議案第 23 号 氷見市国民健康保険保険給付費支払準備基金に関する
条例の一部改正について……………議案書 J-14
- ・ 議案第 24 号 氷見市国民健康保険条例の一部改正について……………議案書 J-16
- ・ 議案第 25 号 氷見市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について……………議案書 J-17

◎ 健康課

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
健康課所管に係る事項……………予算書 102
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算（第8号）中
健康課所管に係る事項……………説明書A－18

◎ 病院事業管理室

- ・議案第3号 平成30年度氷見市病院事業会計予算……………予算書特 43
- ・議案第11号 平成29年度氷見市病院事業会計補正予算（第4号）……議案書C－1

◎ 環境・交通防犯課

- ・議案第1号 平成30年度氷見市一般会計予算中
環境・交通防犯課所管に係る事項……………予算書 92
- ・議案第9号 平成29年度氷見市一般会計補正予算（第8号）中
環境・交通防犯課所管に係る事項……………説明書A－18

（注）一般会計における繰出金、人件費、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

企画政策課 上坊寺委員	地域づくり協議会について。設立した協議会は取り組んでから設立までどれくらいの期間を要したか。
出戸課長	地域によって差がある。1年目に準備会を開き1年のうちに取りまとめ いただいて、2年目に設立をお願いしたいというのが市の考え方である。
上坊寺委員	行政のフォローとしては地域担当職員が主に携わっているのか。
出戸課長	地域が主体となつてがんばっていただいているのが実情である。地域担 当職員はあくまでも補助的な役割である。当然、課としても一生懸命支援 させていただいている。
上坊寺委員	地域づくりアドバイザーについて。どのような方がいるか。
出戸課長	地域の要望に合わせた形で専門家の方を選んでいる。例えば、地域の中 でアンケートをし、その結果を踏まえて地域づくり計画をつくりたいとい う要望があれば、その計画づくりにふさわしい人を地域の方と一緒になっ て検討し、派遣している。 平成29年度までは市に相談いただいて市から派遣という形だったが、 平成30年度からは地域で決めていただいて、それについて市から10 0%補助するという形に変えさせていただく。地域の主体性を保ちながら 市が支援するという事で御理解いただきたい。
上坊寺委員	地域づくりアドバイザーに地域づくり協議会の設立を手伝ってもらお うと思っているが、設立後も手伝ってもらっているのか。
出戸課長	地域づくり協議会ができたところに対しては、計画をつくったけれどど のように取り組んでいけばよいかというアドバイスなどのフォローをし ている。地域づくり協議会にこだわらず、地域の中の課題に対して専門性 を持った人を派遣していくことにしている。
山本委員	地域おこし協力隊について。今のところ地元からどのような分野の要望 があるか。
出戸課長	6次産業化とか、地域づくり協議会で目指そうとしている方向性の中で 子どもたちと一緒に地域をよくしていこうということとかである。
濱井委員	地域おこし協力隊の現在の応募状況は。

出戸課長	3月11日までに選考の面接をさせていただいた。その面接の際には受け入れ団体となる地域の方に審査に入っていただいて、一緒に選考させていただいた。応募は4名で、1名内定を出させていただいた。
正保委員	平成29年度1名が途中で辞めていかれたのはどういう事情か。
出戸課長	8月いっぱい辞められたが、学校の先生になられたためである。
正保委員	面接時に本人の思いと当局の条件とがマッチングするように、本人の目を見て、しっかり氷見に根付いていただけるような方を優先的にしていただきたい。
出戸課長	これまでの検証と課題を踏まえ、今回の選考から受け入れ団体と希望される方とのコミュニケーション、意志の疎通が必要だということで、現地を見るなど選考の前にもコミュニケーションを取る時間を設けている。そして、選考に際しても、本人の意向を市と地域の方と一緒に確認し、この方なら地域の中でやっていると確信を持てる方に今回内定を出させていただいている。このような考え方で今後進めていきたい。
正保委員	勤務体制については、今回の3期目の募集に関しては今までどおりか。視察で見てきたような半日は市役所で仕事をし、半日はあと自由だというような市で拘束する時間は設けないのか。
出戸課長	受け入れ団体によって違うわけである。市役所が受け入れ団体になることもある。それによって勤務体制、座るところが違うのだと思う。
濱井委員	本会議で除雪を地域にお願いしたらどうかという話があったが、地域活力施設等整備支援事業でみることは可能か。もしくは地域づくり協議会の中で扱うことは可能か。
出戸課長	除雪というのは社会資本の形成につながるものではないので、地域活力施設等整備支援事業でみることは難しい。地域づくり協議会の交付金の中でいう話については、その使い道については協議会の中で議論いただいて判断いただくことになると思う。
萩山委員	高岡地区広域圏事務組合分担金について。高岡市のいろんな財源問題によって、この分担金にいろいろと影響が出てくるということはないか。
出戸課長	構成3市で協議し決めているので、現在の高岡市の状況を緩和してということはないし、今後もないと思っている。

萩山委員	一時期ある報道で市民の目に触れたようなことについては、今のところ広域のほうからは一切ないということによいか。
出戸課長	私の出席している課長会議においてもない。
芸術文化振興室	
萩山委員	公民連携による新文化施設計画推進事業費については、当初予算成立から1円も執行しなかった、どなたもアドバイザーとして来ていただいてお会いする機会もなかったということによいか。
藤澤部長	1円も執行していない。これまで減額補正してこなかったのは、グランドデザインの進捗状況を見ながら、もし着手できるタイミングがあれば早急に着手したいという思いがあったからである。
萩山委員	誰もアドバイザーとして呼ばなかったということは、その間何もしなかったということか。
藤澤部長	昨年度末に公表した事業の進捗に関しては、一歩も進めなかったということである。
林市長	この予算については骨格予算ということで、私の就任する以前の当初予算の中で、昨年度公表した500席の公民連携を進めるとしてついていたもの。どこかを含めて4つの跡地全体として見直すという中で、どこでどれくらいのものをとというものがなくなかなか公民連携の研究ができなかったのではないかと思っている。
萩山委員	骨格であっても29年度の予算を執行する市長の立場として、こういう予算がついているなら議会と話して使い方を変えて有効に使おうじゃないかということがあってしかるべきだ。部長がうまく市長にサゼッションしなかったのではないか。
藤澤部長	残念ながらせつかくある予算をうまく使うことができなかった点については反省している。
正保委員	平成30年度の予算はスピード感を持って、適正な有識者等を選択して進めていただきたい。
藤澤部長	スピード感を持ってあたりたい。有識者のみならず、今回公民連携を進めたいので、できるだけ早く適正な事業のパートナーを見つけたい。
萩山委員	新しい市長になってからゼロベースに戻してどこに何をどういう形でつくるかという方向性をこの年末に見出したということによかったと思

藤澤部長	<p>うが、公民連携ということについては結果が出た段階でスタートできるように同時並行でやっておくべきではなかったか。</p> <p>先ほどの私の言い方は適切ではなかった。予算の執行はしなかったけど仕事はしなかったという意味ではない。担当の部署で全国の事例や施設の手法、形態について研究してきた。しかし予算についてはもっと研究に使うことができたのではないという反省はある。</p>
<p>スポーツ振興室 正保委員</p> <p>角井室長</p>	<p><案件外>ゆるスポーツについて</p> <p>脇に挟むブリのぬいぐるみとよく似たものを先日テレビを見た。ブリのとれる地域の着ぐるみの上にブリが乗っていた。いろんな問題が発生するかもしれないかは別として、一度確認をお願いしたい。</p> <p>このぬいぐるみは働く婦人の家の教室の先生につくってもらったもので、型も起こしてあり、先生オリジナルのものである。先生と話を進めていきたい。</p>
<p>教育総務課等 上坊寺委員</p> <p>東軒課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>東軒課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>東軒課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>山本教育長</p>	<p><案件外>小中一貫校について</p> <p>久目小学校、速川小学校、明和小学校、西部中学校の小中一貫校について統合審議会の答申が出されたが、現在の地域における説明状況は。</p> <p>現在、地元説明会に入っている最中で、先月は明和、久目地区で行い、3月19日には速川地区で行う予定。3月25日には3地区の保護者対象の説明会も予定している。</p> <p>説明会をやっている中で問題点とか苦情とかはないか。</p> <p>3校統合に関しての強い異論はないが、小中一貫校のメリット、デメリットについての問い合わせが多い状況である。</p> <p>小中一貫校としたときに、教室の数とかについては現状の西部中学校でどのように受け入れするか。</p> <p>整備したときの普通教室は7クラスあったが現在は3クラスであり、空きの特設教室も活用すると普通教室には問題がないが、中学校と小学校は違うので小学校仕様に一部変える必要があるという課題がある。またどういった特色ある教育をするかを考えた場合に、特設教室も考えていかなければならない。そこで30年度は小中一貫校検討委員会を立ち上げ、どういった校舎がいいのか検討していきたい。</p> <p>「特色のある一貫校」のいう特色とはどのようなものか。</p> <p>氷見は外国語教育とかICTの利活用とか全国に先駆けた取り組みを</p>

	進めようとしているので、そういうことを十分生かしていけるような特色を打ち出していきたい。
学校教育課等 山本委員	部活動指導員に対しての指導とか、事故対応とかはどのように考えているか。
中舘課長	県からようやく身分上の取り扱いのような規定がきたところで、非常勤のような形で保険とかもすべて対応していきたい。4月から確実に運用できるように準備を進めているところである。
子育て支援課 萩山委員	孫とおでかけ支援事業について。実際にどのくらいの方が利用されているか。
坂下主査	連携する前と後でだいぶ入館者が変わってきている。潮風ギャラリーの入館者だけでいうとゴールデンウィークと8月が一番多く、連携前は住所要件を設けておらず、月平均で三、四十人いた。連携して住所要件を設けてからは多くて月10人くらいである。
萩山委員	氷見市は呉西6市でやりはじめてから仲間に入れていただいたそうだが、富山市のある資料館や美術館へ行くと最初の立ち上げのときのポスターがそのまま貼ってあって、そこには氷見の名前がない。新しいものにしてもらう働きかけをしていただきたいが。
東海課長	確かに去年のポスターには氷見市は印刷されていない。9月から連携させていただいたという経緯があり、新年度のポスターにはじいちゃん版とばあちゃん版の両方ともにしっかり氷見市が入ることになっている。
健康課 正保委員	不妊治療費助成事業費について、一昨年とどれだけ減になったか。
坂本課長	のべ件数で28年度は95件あった。29年度は50件程度の見込みである。
正保委員	いろんな方に使っていただけるようにPRを。
坂本課長	PRについては広報とホームページで。それと不妊治療をしている医療機関にチラシを置いている。例年と変わらない体制である。 この減ってきた原因としては県の助成制度の拡充というのがある。県で助成をして、それにプラスして氷見市も助成する形になっているが、県では初めて妊娠した場合、今まで15万円だったのが30万円になった。件数もだが、治療に係る助成する費用についても減ってきたということが今回の減額につながっている。

正保委員	助成回数に制限はあるか。
坂本課長	氷見市では特定不妊治療の上限を年間50万円としており、回数には関係ない。
正保委員	利用回数は概ね2回程度か。
坂本課長	まずは県の助成制度を利用して、その後、自己負担分について氷見市から助成を受けるような形になっている。年間多い方は4回利用している。
環境・交通防犯課 山本委員	<p><案件外>エコクリーンセンターについて</p> <p>4月1日から水銀排出規制がかかると聞いた。エコクリーンセンターでは特段広報とかせずに構成市に任せると。氷見市は体温計とか血压計とか水銀の入っているものの分別はきちんとされていると思うが、新たに水銀に関することを広報する予定はあるか。</p>
山口課長	当然広報していきたいと思っている。